



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

会社名 太平化学製品株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 4223

URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 山時 慎一

TEL (048)222-1122

半期報告書提出予定日 平成27年12月24日

親会社名 東ソー株式会社(コード番号:4042) 親会社における当社の議決権所有比率：75.93%

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,425	(△ 8.4)	8	(△ 70.7)	16	(△ 58.9)	8	(△ 64.5)
27年3月期第2四半期	2,649	(9.0)	29	(-)	39	(-)	22	(-)

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 11百万円(△ 72.8%) 27年3月期第2四半期 41百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0 66	-
27年3月期第2四半期	1 87	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	7,653	2,970	38.8	241 70
27年3月期	7,849	2,979	38.0	242 40

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,970百万円 27年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0 00	-	2 50	2 50
28年3月期	-	0 00			
28年3月期 (予想)			-	2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,500	5.3	100	78.8	100	21.1	60	186.0	4 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期第2Q	12,300,000株	27年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	28年3月期第2Q	9,062株	27年3月期	9,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期第2Q	12,290,938株	27年3月期第2Q	12,291,115株

(参考)個別業績の概要

1. 平成28年3月期第2四半期の個別業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1)個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,314	(△12.5)	△ 17	(-)	△ 1	(-)	△ 4	(-)
27年3月期第2四半期	2,645	(9.0)	24	(-)	36	(-)	21	(-)

(注)平成28年3月期第2四半期の個別業績における経常利益は△1,978千円、四半期純利益は△4,521千円であります。

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
28年3月期第2四半期	△ 0 36
27年3月期第2四半期	1 74

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	7,567	2,932	38.7	238 55
27年3月期	7,817	2,969	38.0	241 63

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,932百万円 27年3月期 2,969百万円

2. 平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
	5,300	△ 8.6	60	△ 42.9	40	△ 42.9	3 25	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、第2四半期決算短信(添付資料)2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生及び財政健全化に向けた各種政策の効果により、企業収益の改善、設備投資の持ち直しや個人消費の堅調さもあり、景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国経済の先行き不透明や地政学リスクによる海外景気の下振れ懸念があり、依然として予断を許さない状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、新規案件の掘り起こし等行ってきましたが、国内及び海外需要の低迷が影響し、売上高は、2,425百万円、対前年同期比223百万円（同△8.4%）の減収となりました。

一方、利益面につきましては、引き続き経費削減に努めているものの売上高の減少が影響し、営業利益は8百万円、対前年同期比20百万円（同△70.7%）、経常利益は16百万円、対前年同期比23百万円（同△58.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円、対前年同期比14百万円（同△64.5%）の減益となりました。

2) 事業の種類別セグメントの状況

① 合成樹脂事業

合成樹脂事業は、冷却塔用充填剤及び工業用部材が低調に推移したことから、売上高は、1,535百万円、対前年同期比145百万円（同△8.6%）の減収となりましたが、引き続きのコスト削減が奏功し、セグメント利益は106百万円、対前年同期比49百万円（同86.9%）の増益となりました。

② 化成品事業

化成品事業は、顔料分散体の低調さに加え、粘接着剤塗工製品の事業縮小により、売上高は、890百万円、対前年同期比78百万円（同△8.1%）の減収、セグメント利益は、158百万円、対前年同期比33百万円（同△17.6%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形・売掛金の減少及び棚卸資産の増加の結果、前連結会計年度末と比較して196百万円減少し、7,653百万円となりました。

負債は、主に支払手形・買掛金が減少した結果、187百万円減少し、4,682百万円となりました。

純資産は、主に当四半期純利益及び配当金の支払いにより、8百万円減少し2,970百万円となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動の結果得られた資金及び新規連結子会社の期首残高資金が、営業活動及び投資活動に使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し381百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、14百万円となりました。これは主に売上債権の減少233百万円及び仕入債務の減少201百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、55百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得53百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、14百万円となりました。これは主に短期借入金の調達100百万円、長期借入金の返済54百万円及び配当金の支払い30百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが見込まれます。

こうした環境下、当社を取り巻く市場環境は依然として厳しい状況が続いているものの、安定供給の継続や既存テーマの早期実商化、新規案件の獲得、引き続きのコスト削減を行うことにより、収益を確保する見込みです。

なお、平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年8月5日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、泰賀(上海)貿易有限公司を連結決算上の重要性が増したことを考慮して、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
		金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産		3,762	3,645
現金及び預金		371	381
受取手形及び売掛金		1,836	1,592
商品及び製品		849	990
仕掛品		254	240
原材料及び貯蔵品		303	300
繰延税金資産		76	76
その他		72	65
貸倒引当金		△ 1	△ 0
II 固定資産		4,086	4,007
1. 有形固定資産		3,488	3,444
建物及び構築物(純額)		285	268
機械装置及び運搬具(純額)		417	372
土地		2,757	2,757
リース資産(純額)		3	2
建設仮勘定		7	26
その他(純額)		16	16
2. 無形固定資産		4	3
ソフトウェア		1	1
電話加入権		2	2
3. 投資その他の資産		593	559
投資有価証券		195	193
関係会社株式		30	—
繰延税金資産		342	343
その他		24	22
資産合計		7,849	7,653

(単位:百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
		金 額	金 額
	(負債の部)		
I 流動負債		4,050	3,859
支払手形及び買掛金		1,179	985
短期借入金		2,400	2,500
1年以内に返済予定の長期借入金		106	52
リース債務		1	1
未払金		140	139
未払法人税等		18	11
未払消費税等		35	20
未払費用		35	40
賞与引当金		87	97
設備関係支払手形		40	5
その他		5	5
II 固定負債		819	823
リース債務		1	0
退職給付に係る負債		711	721
役員退職慰労引当金		31	36
長期預り保証金		55	56
その他		19	7
	負債合計	4,869	4,682
	(純資産の部)		
I 株主資本		2,997	2,985
資本金		1,222	1,222
資本剰余金		958	958
利益剰余金		816	805
自己株式		△ 0	△ 0
II その他の包括利益累計額		△ 17	△ 14
その他有価証券評価差額金		△ 17	△ 20
為替換算調整勘定		—	5
III 非支配株主持分		—	—
	純資産合計	2,979	2,970
	負債・純資産合計	7,849	7,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)
		金 額	金 額
I 売上高		2,649	2,425
II 売上原価		2,264	2,018
売上総利益		384	407
III 販売費及び一般管理費		355	398
営業利益		29	8
IV 営業外収益			
受取利息及び受取配当金		2	2
スクラップ売却益		2	4
為替差益		15	-
環境対策費用戻入益		-	11
その他		8	4
計		29	23
V 営業外費用			
支払利息		18	13
為替差損		-	1
その他		1	0
計		19	15
経常利益		39	16
VI 特別損失			
固定資産除却損		0	0
計		0	0
税金等調整前四半期純利益		38	16
法人税等		15	7
四半期純利益		22	8
非支配株主に帰属する四半期純利益		-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		22	8

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)
		金 額	金 額
I 四半期純利益		22	8
II その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金		18	△ 2
為替換算調整勘定		—	5
その他の包括利益合計		18	3
III 四半期包括利益		41	11
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益		41	11
非支配株主に係る四半期包括利益		—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)
		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益		38	16
減価償却費		76	77
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)		24	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)		4	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△	4	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)		—	△ 0
受取利息及び受取配当金	△	2	△ 2
支払利息		18	13
為替差損益(△は益)	△	15	—
有形固定資産除却損		0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△	24	233
たな卸資産の増減額(△は増加)	△	65	△ 123
仕入債務の増減額(△は減少)		156	△ 201
未払消費税等の増減額(△は減少)		27	△ 15
その他	△	4	△ 7
小計		229	13
利息及び配当金の受取額		2	2
利息の支払額	△	18	△ 13
法人税等の支払額	△	4	△ 16
法人税等の還付額		0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー		209	△ 14
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△	79	△ 53
有形固定資産の除却による支出		—	△ 0
長期前払費用の取得による支出	△	0	△ 5
その他	△	0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	79	△ 55
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		—	100
長期借入金の返済による支出	△	54	△ 54
リース債務の返済による支出	△	1	△ 1
自己株式の取得による支出	△	0	—
配当金の支払額	△	0	△ 30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	55	14
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		15	0
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		89	△ 54
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,069	371
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		—	64
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高		1,158	381

(注)キャッシュ・フロー計算書の△は、現金及び現金同等物の流出を表しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,681	968	2,649	—	2,649
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,681	968	2,649	—	2,649
セグメント利益	57	192	249	△ 220	29

(注) セグメント利益調整額△220百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,535	890	2,425	—	2,425
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,535	890	2,425	—	2,425
セグメント利益	106	158	265	△ 256	8

(注) セグメント利益調整額△256百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△256百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。